

東京オリンピックを もう一度

尾鷲市立図書館協議会委員 湯浅 祥司

前回 1964 年の東京オリンピックを覚えている人は、もう65歳以上の高齢者になっている。あのときの感動を思い出すたび、再び東京で開催されることを夢見る。多くの感動的なシーンも、すべて TV や映画を通しての体験だったから、最悪無観客でも、楽しめるはずだ。



オリンピック・ワッペン(現存)

昭和31年(1956)の経済白書に「もはや戦後ではない」と記され、戦後の高度成長期に、一丸となって休みなく働いた国民に、与えられたご褒美……それが、前回の東京オリンピックだったと思う。

ご近所のみなさんも、まだ質素だった。洗濯機、冷蔵庫、テレビがようやく普及し始めた頃で、カラーテレビは珍しかった。通学していた尾鷲中学校は、33クラスもあった。全校生徒が1600人近くいて、毎日が賑わいだった。さらに、ちょうど火力発電所が本格的に発電を始めた時期でもあった。そんな頃、開会10日前の東京へ、中学校の修学旅行で行った。東京の街は素晴らしく整備されていて、完成直後の新幹線や東名高速道路を目の当たりにした。

10月10日、前日までの雨が嘘のように上がり、真っ青な東京の空に、航空自衛隊のF86戦闘機が5つの輪を描いていく。オリンピック讃歌が歌われる中、オリンピック旗が掲揚されていった。このすがすがしい曲は、古関裕而作曲で、以降IOC公式曲になった。氏の入場行進曲「オリンピック・マーチ」も名曲で、見聞きするたび胸が熱くなる。国民ひとり一人の心がひとつになった、「あの瞬間」へ、気持ちが無条件でタイムスリップしていく。

檜舞台で全力を出し切る選手達。結果はどうであれ、その姿が美しい。アベベ(マラソン)、ヘイズ(陸上)、チャスラフスカ(体操)、ヘーシンク(柔道)、遠藤(体操)、河西(女子バレー)、バラシュ(女子走高跳)……………

半世紀も経つと、あんなに輝いていた名選手の多くが、この世を去ってしまった。愛犬と虹の橋を渡って行った人も、いたのだろうか。

同時中継で見た感動は、長く記憶に残る。それを補ってくれる本があると、一生その経験を忘れることがない。残念ながら、いつ消えてしまうかわからないネットの世界には、その役目を期待するわけにはいかない。オリンピックは最高の感動を末永く残してくれる、貴重な現場である。直後に出版される大会記録図書は、一生の宝物になる。……もう一冊、本を買いたいと思う。

図書館行事報告

☆子ども読書会開講 (6月19日(土))

昭和42年から毎年恒例となっている「子ども読書会」が開講しました。読み聞かせにしりと、図書館探検を行いました。読み聞かせを聞いている表情は真剣そのもの。しりとクイズでは積極的に手をあげてくれました。



2021 7 July

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2021 8 August

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2021 9 September

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

おはなし会の予定

★おはなしだっこ【赤ちゃん対象】
第1木曜 1歳児以上 10:00~
0歳児 10:45~

★おはなしの時間【幼児対象】
第1・3土曜日 11:00~

★おはなしの広場【幼児~小学生】
第2・4土曜日 11:00~

尾鷲市立図書館 (〒519-3616 三重県尾鷲市中村町 10-41)

開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝 9:30~17:00

休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館

年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館

電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283

図書館 HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>



図書館だより 2021年夏号

つみくさ



東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開幕します。4年に一度のスポーツの祭典。1964年以来、57年ぶりの感動が日本にやってきます。7月23日(金)の開会式のあと、競技大会は日本各地を舞台に熱い戦いが繰り広げられます。この機会に関連する本を読んで、さらに気分を盛り上げ、オリンピック・パラリンピックを楽しみましょう♪

『スポーツ観戦を楽しむ本』 長崎 源之助/作,石倉 欣二/絵 ポプラ社



メジャーなスポーツから注目の競技まで、人気の68競技の基本ルール、競技場や歴史、見どころなどを、写真やカラー図版を使って徹底解説しています。

『アスリートの心を磨く言葉と魂を揺さぶる絶景』 鈴木 颯人/著 パイインターナショナル



人々の心に残るスポーツ選手の言葉を、美しい絶景とともに紹介。大きな壁にぶつかった時に、乗り越える力をくれる1冊です。

『オリンピック全史』 デイビッド・ゴールドブラット/著 原書房



近代オリンピックはどのようにして誕生し、発展してきたのか。政治・利権・メディア等との負の関係、今大会の課題まで、記述しています。

『夏から夏へ』 佐藤 多佳子/著 集英社



日本代表リレーチームの北京五輪メダルへの熱き挑戦取材したドキュメンタリー。アスリート達の熱きドラマに、感動がよみがえる1冊。

『オリンピック・パラリンピック まるごと大百科』 学研プラス



「オリンピック、パラリンピックって何?」から、歴史や精神、さらにスポーツの価値や世界の文化・問題を、この1冊で知ることができます。

『オリンピックの輝き』 佐藤 次郎/著 東京書籍



日本が初めて参加した1912年のストックホルムで活躍した選手から、今大会注目の選手まで、さまざまな人生が紡いだ情熱の物語。

◀目次▶

- ・図書館利用者さんの「これ読んでみまー!」
- ・図書館エッセイ…湯浅祥司さん

- ・「ねえねえ知ってる?」…パラリンピックの裏話
- ・3ヶ月ランキング
- ・図書館行事報告/カレンダー

図書館利用者さんの

これ読んでみいませー!



『かがみの孤城』

(辻村 深月//著、ポプラ社)

いじめにあっている主人公は、学校に行けなくなり、家に閉じ籠ってしまう。そして鏡の中の世界に入り色々な人達と出会うその中で、自分を取り戻していくのだが…。最後にアッと驚く事実がある。

この本は、丁度その頃中学生だった孫が友人関係で悩んでいたのので、この本を読んでみたらと勧めました。すごく共感したようで、読書感想文をコンクールに出品して賞をもらいました。その感想文を読んで、こんなに悩んで居たのかと涙が出ました。本人は最後の展開に心がスカッとしたそうです。

70代主婦



『任侠シリーズ』 全5巻

(今野 敏//著、実業之日本社)

阿岐本組は今時珍しく任侠道をわきまえたヤクザ。組長は社会奉仕に目がなく、次から次へと厄介事を引き受けてしまう。倒産寸前の出版社や高校の再建、病院、浴場に映画館。厳しくも温かく体を張る男たちの異色極道小説。

西島秀俊さん主演で映画化もされた作品です。個性豊かな阿岐本組の人々が世の中の「おかしい」を立て直していく人情味溢れる痛快なお話です!

アラフィフカーちゃん

『わたしの美しい庭』 (凧良 ゆう//著、ポプラ社)



凧良ゆうさんの『流浪の月』を読んで文の書き方や言葉の選び方が綺麗で、新作のこの本が図書館に有ったので読みました。統理、百音、路有、桃子さん、基くん、みんな生きづらさを感じているし傷を抱えているけど、支えあう人達が「屋上の神社」の綺麗な庭園の様な所でお茶をしている。「へんなおもいやり」や、おかしいと思いつつ見たり、偏見を持って接する人もいるけど、そういう人達の「かいしゃく」とは関係なく過ごしている百音ちゃん達はすごく素敵だなと思いました。心がギュッととなり、とても好きだなと思える話でした。

語彙力がない本好き (JK)

ねえねえ知ってる?

パラリンピックの裏話

細川宏史さん

2度パラリンピックに出場された競泳選手であり、今東京大会聖火ランナーの細川さんにお話を伺いました。

北島康介選手が「チョー気持ちいい!」と発言された大会



オリンピックストラップです

Q パラリンピックの思い出をお聞かせください。

2度出場しましたが、2000年のシドニー大会は水泳が盛んな地域のため、大変盛り上がった大会でした。2004年アテネ大会は、北島康介が初めて金メダルを獲りましたが、プールは未完成で屋根がない状態でした。パラリンピックでは屋根がないと支障が出るので、室内サブプールで開催されました。オリンピック・パラリンピックでは、毎回競技が終わるとインタビューを受けます。メダルを獲るとドーピング検査もあり、取材等受けていると夜の12時を過ぎていました。連日試合のある有名選手はもう大変。大会後のメダリスト記念パレードは有名ですが、入賞者には表彰式があり、皇居での茶会に招待されます。美智子様に「細川さん」とお声をかけていただきました。

食器には菊の紋章が入っていたそうです。たばこにも!

Q そのほか国際大会の思い出

パラリンピックは世界規模の大会ですが、アジアパラはアジア圏の大会になります。アジア大会では、虫が多く、プールの隅に浮いていたり…。食事と水には気をつけていました。きっと今度の東京大会は、施設・ホテル・食事どれもすばらしく、最高でしょうね。

Q 東京大会聖火ランナーとしての抱負

今回のおはなしをいただいた際、自分でよいのかと思いました。8月21日東京都内を走ります。この時期、三重県代表として責任があるので、約2カ月体調管理等気をつけたいと思います。

細川さん応援しています!

小説も熱い! オリンピック!



『DIVE!!』

森 絵都//著 KADOKAWA

高さ10メートルからダイブし、空中演技の正確さと美しさを競う飛込み競技。その一瞬に魅了された少年たちの熱い戦いが始まる。飛込みにかける少年たちを描いた青春文学の金字塔!



『スイム!スイム!スイム!』

五十嵐 貴久//著 双葉社

オリンピックの競泳で、2種目2連覇をしたオレ。まだまだやってやるぜと思っていたが、引退勧告を受け…。もう一度、あの舞台上で輝いてやる! 男女混合メドレーレーでオリンピック出場を目指す、笑って泣けるスポーツ小説!



『十の輪をくぐる』

辻堂 ゆめ//著 小学館

認知症の80歳の母がテレビのオリンピック特集を見て「私は…東洋の魔女」と呟いた。母が隠していた「家族の過去」とは…。1964年と2020年、東京五輪の時代を生きる親子の姿を三代にわたって描いた感動作です。



『昭和40年男〜オリンポスの家族〜』

佐川 光晴//著 ホーム社

昭和40年生まれで元体操日本代表の主夫・三男が家族のために奮闘!?自分が果たせなかったオリンピックへの夢を娘に託し…。オリンピックを舞台に、昭和から平成、そして令和へと時代をつなぐ、心温まる家族のおはなし。



『独走』

堂場 瞬一//著 実業之日本社

金メダル倍増計画を掲げ莫大な予算でアスリートを管理育成する国で、選手は何を目的に戦うのか。五輪柔道金メダリストは、陸上選手のサポートをスポーツ省から命じられ…。育成されるアスリートの苦悩と飛翔を描いた1冊です。



『炎をきりさく風になって』

フランシス・ポレットィ//作

クリスティーナ・イー//作
スザンナ・チャップマン//絵 汐文社
走ることが大好きだったポビー。友だちがみんな走るのをやめても、走るなんて「女らしくない」と言われても走りつづけ…。1966年に女性としてはじめてポストンマラソンを走ったポビー・ギブの物語。

3ヶ月ランキング

2021年4月~6月です(単行本)

1位 『湯どうぶ牡丹雪』 (山本 一カ//著、KADOKAWA)

飛鳥山に湯治に訪れていた長兵衛。夜更けに部屋でくつろいでいると、そこに自身番が踏み込んできて…。江戸日本橋を舞台に知恵と人情で謎を解く、村田屋長兵衛 待望の第二弾です。



2位 『いわいごと まんまことシリーズ 8』

(畠中 恵//著、文藝春秋)

3位 『日没』(桐野 夏生//著、岩波書店)

『元彼の遺言状』(新川 帆立//著、宝島社)

『騙る』(黒川 博行//著、文藝春秋)

『雪に撃つ』(佐々木 譲//著、角川春樹事務所)

『それでも、陽は昇る』(真山 仁//著、祥伝社)

.....★ 小説以外の1位 ★.....

『肉×野菜のそそる!おかず』(市瀬 悦子//著、学研プラス)

.....★ 予約件数 第1位 ★.....

1位 『52 ヘルツのクジラたち』 (町田 そのこ//著、中央公論新社)

2021年 本屋大賞作品!